

第2章 調査結果の概要

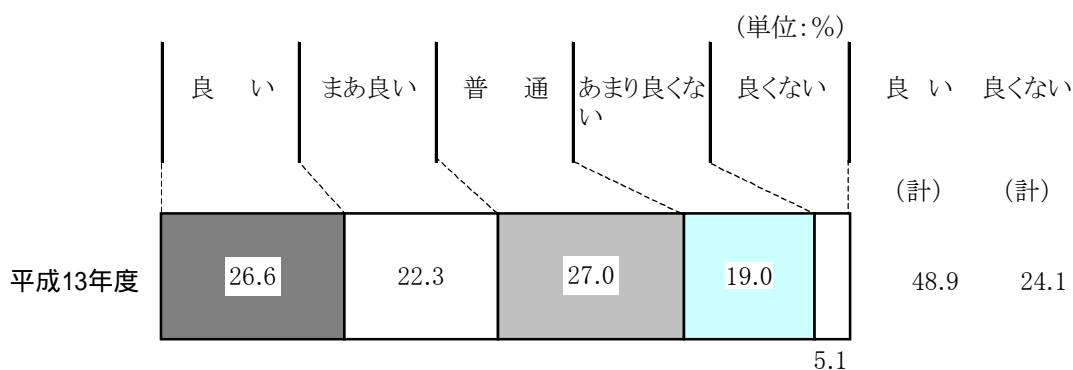
1 就労に関する事項

(1) 健康状態 (Q1)

現在の健康状態についてみると、「良い」が26.6%、「まあ良い」は22.3%となっており、両方を合わせた『良い』は48.9%とほぼ半数を占めている。

一方、「あまり良くない」19.0%と「良くない」5.1%を合わせた『良くない』の割合は24.1%とほぼ4人に1人を占めている。また、「普通」の割合は27.0%となっている。

図1-1 健康状態 (Q1)



年齢階級別にみると、健康状態が『良い』は「60～64歳」が60.2%と最も高い割合となっている。一方、『良くない』の割合は年齢が高くなるにつれ拡大し、75歳以上で3割を超えている(75～79歳33.9%、80歳以上39.5%)。

表1-1 健康状態 (Q1)

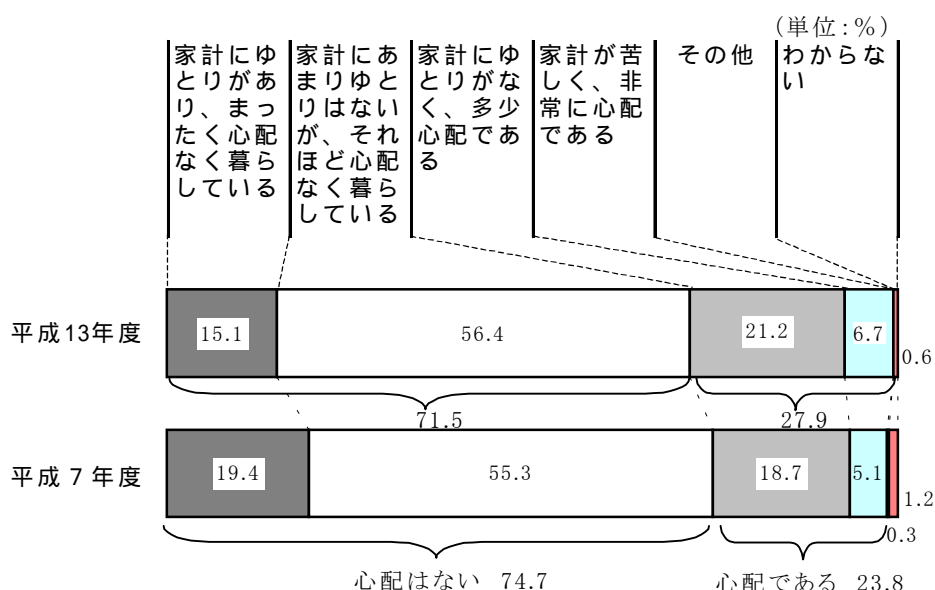
	総数	良い (計)		普通	良くない (計)			
		良い	まあ良い		あまり良くない	良くない		
【総数】(実数) (構成比)	2,077	1,016 48.9 %	552 26.6 %	464 22.3 %	561 27.0 %	500 24.1 %	395 19.0 %	105 5.1 %
【性別】								
男性	936	51.0	28.0	23.0	26.7	22.3	17.4	4.9
女性	1,141	47.2	25.4	21.8	27.3	25.5	20.3	5.2
【年齢】								
60～64歳	507	60.2	36.5	23.7	26.4	13.4	10.7	2.8
65～69歳	535	51.6	28.0	23.6	26.7	21.7	17.6	4.1
70～74歳	505	43.6	21.8	21.8	31.7	24.8	19.2	5.5
75～79歳	330	42.1	21.2	20.9	23.9	33.9	27.0	7.0
80歳以上	200	38.0	18.5	19.5	22.5	39.5	30.5	9.0

(2) 現在の経済的な暮らし向き (Q2)

「現在の経済的な暮らし向きについてどのように考えているか」についてみると、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」が15.1%、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」は56.4%となっており、両方を合わせた『心配ない』は71.5%となっている。一方、「家計にゆとりがなく、多少心配である」21.2%、「家計が苦しく、非常に心配である」6.7%を合わせた『心配である』の割合は27.9%となっている。

前回調査と比較すると、『心配はない』は3.2ポイント減少し、『心配である』が4.1ポイント増加している。

図1-2 現在の経済的な暮らし向き (Q2)



都市規模別にみると、中都市で『心配はない』(75.9%)の割合が高く、『心配である』(23.7%)の割合が低くなっている。

性別にみると、『心配はない』(男性69.3%、女性73.3%)は女性の割合が高く、『心配である』(男性30.4%、女性25.8%)は男性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると『心配はない』は年齢の高いほど割合が高く、「80歳以上」では8割を超えている。一方、『心配である』は、「60~64歳」で35.7%と最も高く、年齢が低いほど割合が高くなっている。

最長職別にみると、『心配である』は「自営業タイプ」(33.4%)で割合が高くなっている。

健康状態別にみると、『心配はない』は健康状態の「良い」(81.0%)、「まあ良い」(79.1%)で8割前後と割合が高く、『心配である』は健康状態の「良くない」(61.9%)、「あまり良くない」(36.7%)で高くなっている。

同居家族タイプ別にみると、『心配である』は「単身」(40.3%)、「同居(親が主たる生計)」(32.3%)で割合が高くなっている。

1か月当たりの平均収入額別でみると、収入額が高くなるほど、『心配はない』の割合が高くなっている。

表1-2 現在の経済的な暮らし向き（Q2）

	総数	心配はない（計）			心配である（計）			その他	わからない
		家計にゆとりがあり、まったく心配していない	家計にゆとりが、それほど心配していない	家計にゆとりが、多少心配である	家計が苦しく、非常に心配である				
【総数】(実数) (構成比)	2,077	1,485 71.5 %	313 15.1 %	1,172 56.4 %	579 27.9 %	440 21.2 %	139 6.7 %	- -	13 0.6 %
【都市規模】									
大都市	350	68.0	14.0	54.0	31.4	22.9	8.6	-	0.6
中都市	726	75.9	17.5	58.4	23.7	19.0	4.7	-	0.4
小都市	416	71.4	14.9	56.5	28.4	20.2	8.2	-	0.2
町村	585	68.2	12.8	55.4	30.6	23.6	7.0	-	1.2
【性別】									
男性	936	69.3	14.6	54.7	30.4	23.5	6.9	-	0.2
女性	1,141	73.3	15.4	57.8	25.8	19.3	6.5	-	1.0
【年齢】									
60～64歳	507	63.7	11.8	51.9	35.7	26.0	9.7	-	0.6
65～69歳	535	69.9	12.7	57.2	29.9	23.0	6.9	-	0.2
70～74歳	505	73.5	14.9	58.6	26.1	20.8	5.3	-	0.4
75～79歳	330	77.9	21.2	56.7	21.2	16.1	5.2	-	0.9
80歳以上	200	80.0	20.0	60.0	18.0	13.5	4.5	-	2.0
【同居家族タイプ】(*)									
単身	206	59.2	12.1	47.1	40.3	26.7	13.6	-	0.5
夫婦二人	733	72.3	14.5	57.8	27.0	21.0	6.0	-	0.7
同居(親が主たる生計)	464	67.5	11.6	55.8	32.3	25.6	6.7	-	0.2
同居(子が主たる生計)	447	76.3	19.7	56.6	22.6	17.2	5.4	-	1.1
同居(その他)	33	72.7	12.1	60.6	24.2	18.2	6.1	-	3.0
分けている	183	79.2	18.0	61.2	20.8	15.3	5.5	-	-
わからない	11	90.9	27.3	63.6	9.1	9.1	-	-	-
【最長職タイプ】									
農業タイプ	278	70.9	14.4	56.5	27.3	20.9	6.5	-	1.8
自営業タイプ	404	66.6	15.8	50.7	33.4	23.5	9.9	-	-
雇用者タイプ	1,324	73.0	14.9	58.1	26.5	21.0	5.5	-	0.5
その他	71	74.6	16.9	57.7	23.9	12.7	11.3	-	1.4
【健康状態】									
良い	552	81.0	25.2	55.8	18.7	15.2	3.4	-	0.4
まあ良い	464	79.1	15.7	63.4	20.5	16.8	3.7	-	0.4
普通	561	68.6	10.3	58.3	30.5	24.4	6.1	-	0.9
あまり良くない	395	63.0	9.1	53.9	36.7	27.8	8.9	-	0.3
良くない	105	35.2	6.7	28.6	61.9	29.5	32.4	-	2.9
【現在の仕事】									
農林漁業	132	69.7	15.2	54.5	30.3	25.0	5.3	-	-
自営業	198	69.2	20.2	49.0	30.3	22.7	7.6	-	0.5
常勤の被雇用者	90	70.0	13.3	56.7	30.0	23.3	6.7	-	-
常勤でない被雇用者	35	77.1	28.6	48.6	22.9	22.9	-	-	-
臨時・パート	140	63.6	5.7	57.9	36.4	27.9	8.6	-	-
内職	20	80.0	30.0	50.0	20.0	10.0	10.0	-	-
その他	11	90.9	36.4	54.5	9.1	9.1	-	-	-
仕事はしていない	1,451	72.4	14.7	57.8	26.7	20.1	6.7	-	0.8
【1か月収入額】									
5万円未満	67	61.2	14.9	46.3	34.3	16.4	17.9	-	4.5
5～10万円未満	201	58.7	8.5	50.2	40.8	27.9	12.9	-	0.5
10～15万円未満	295	60.7	9.2	51.5	38.3	26.8	11.5	-	1.0
15～20万円未満	266	65.0	12.8	52.3	35.0	27.1	7.9	-	-
20～25万円未満	294	74.8	11.2	63.6	24.8	20.4	4.4	-	0.3
25～30万円未満	206	77.7	17.0	60.7	22.3	17.5	4.9	-	-
30～40万円未満	263	81.4	20.9	60.5	18.6	17.5	1.1	-	-
40～60万円未満	209	83.3	20.6	62.7	16.7	13.4	3.3	-	-
60～80万円未満	62	91.9	25.8	66.1	8.1	8.1	-	-	-
80万円以上	41	92.7	46.3	46.3	7.3	7.3	-	-	-
収入はない	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	173	64.1	13.9	50.3	32.9	25.4	7.5	-	2.9

* 「同居」、「分けている」、「わからない」については、配偶者以外の同居人のいる世帯を、主な家計の支え手が誰であるかで分類した。
同居(親が主たる生計):家計が一緒に、主に「あなた自身」、「配偶者」の収入で家計を支えている世帯
同居(子が主たる生計):家計が一緒に、主に「独身の子ども」、「結婚している子ども(その配偶者を含む)」の収入で家計を支えている世帯
同居(その他):家計が一緒に、上記以外の同居人の収入で家計を支えている世帯
分けている:同居人との家計を分けている世帯

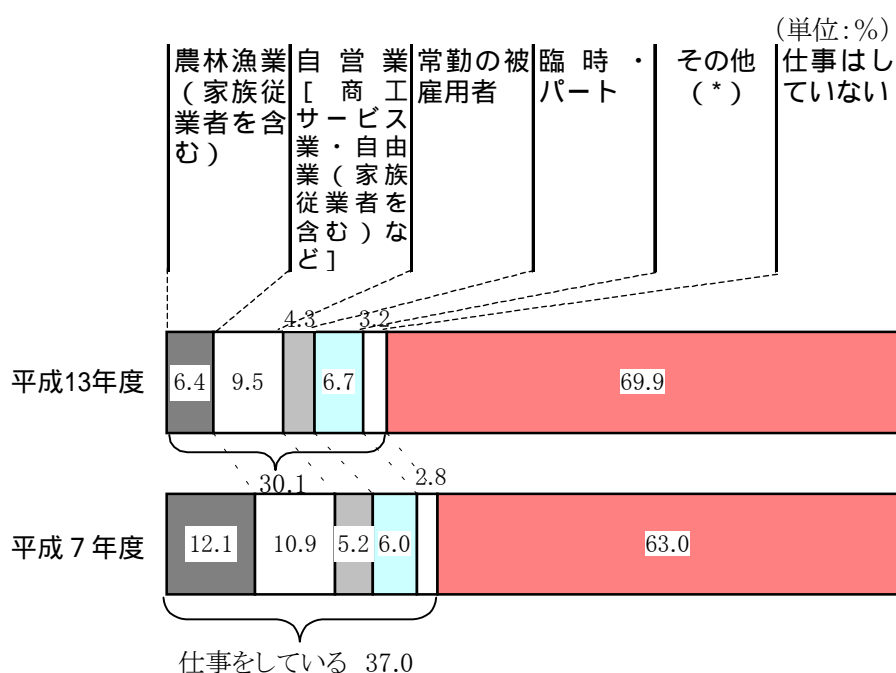
(3) 収入のある仕事の有無とその内容 (Q 3)

「現在、収入のある仕事をしているか」についてみると、「仕事をしていない」が69.9%、性別では、男性60.0%、女性77.9%と、女性が17.9ポイント高い割合となっている。

仕事の内容は「自営業 [商工サービス業・自由業 (家族従業者を含む) など]」9.5%、「臨時・パート」6.7%、「農林漁業 (家族従業者を含む)」6.4%、「常勤の被雇用者」4.3%等の順となっている。

前回調査と比較すると、「農林漁業 (家族従業者を含む)」が5.7ポイント減少し、「仕事をしていない」は6.9ポイント増加している。

図 1 - 3 収入のある仕事の有無 (Q 3)



* 「その他」には、「会社の嘱託や顧問等で常勤でない被雇用者」、「内職」を含めた。

表 1 - 3 収入のある仕事の有無とその内容 (Q 3)

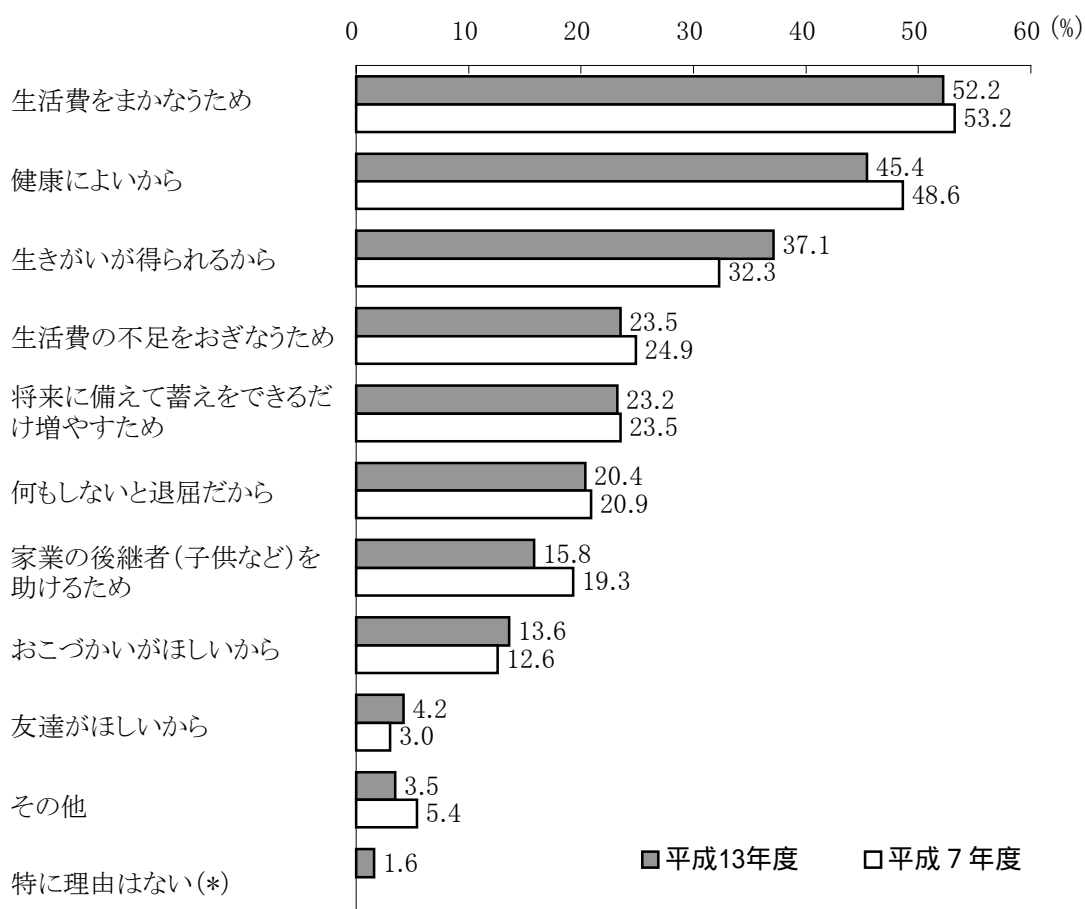
	総数	農林漁業 (家族従業者を含む)	自営業 [商工サービス業・自由業 (家族従業者を含む) など]	常勤の被雇用者	会社の嘱託や顧問等で常勤でない被雇用者	臨時・パート	内職	その他	仕事をしていない
【総数】(実数)	2,077	132	198	90	35	140	20	11	1,451
(構成比)		6.4 %	9.5 %	4.3 %	1.7 %	6.7 %	1.0 %	0.5 %	69.9 %
【性別】									
男性	936	8.9	11.8	7.8	3.4	6.8	0.3	1.0	60.0
女性	1,141	4.3	7.7	1.5	0.3	6.7	1.5	0.2	77.9

(4) 収入のある仕事をしている理由 (Q 4)

現在、収入のある仕事をしている人に、「仕事をしている理由は何か」について尋ねてみると、「生活費をまかなうため」が52.2%と最も多く、以下、「健康によいから」45.4%、「生きがいが得られるから」37.1%、「生活費の不足をおぎなうため」23.5%、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」23.2%、「何もしないと退屈だから」20.4%、「家業の後継者(子供など)を助けるため」15.8%、「おこづかいがほしいから」13.6%、「友達がほしいから」4.2%の順となっている。

前回調査と比較すると、「生きがい得られるから」が4.8ポイント増加している。

図 1 - 4 収入のある仕事をしている理由 (Q 4) (3 つまでの複数回答)



* 「特に理由はない」は、今回加えた項目である。

都市規模別にみると、大都市で「生活費をまかなうため」の割合が55.6%と高くなっている。

性別にみると、「生活費をまかなうため」(男性58.0%、女性43.7%)は男性の方が、「おこづかいがほしいから」(男性10.7%、女性17.9%)、「友達がほしいから」(男性2.7%、女性6.3%)は女性の方が割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢が低くなるほど「生活費をまかなうため」の割合が高くなっており、60~64歳で61.5%と最も高くなっている。また、「健康によいから」は65歳以上で割合

が5割を超えており、このほかでは、年齢が低いほど「生活費の不足をおぎなうため」の割合が高く、60～64歳（28.7%）で最も高くなっている。

最長職別にみると、雇用者タイプで「生活費をまかなうため」の割合が低く、「健康に良いから」の割合が高くなっている。

経済的な暮らし向き別にみると、暮らし向きが悪くなるほど「生活費をまかなうため」「生活費の不足をおぎなうため」「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」の割合が高く、暮らし向きが良くなるほど「健康によいから」「生きがいがあるから」の割合が高くなっている。

表1-4 収入のある仕事をしている理由（Q4）（3つまでの複数回答）

	該当数	生活費を まかなう ため	健康によ いから	生きがい があるから	生活費の 不足をお ぎなうた め	将来に備 えて蓄え をできる だけ増や すため	何もしな いと退屈 だから	家業の後 継者（子 供など） を助ける ため	おこづか いがほし いから	友達がほ しいから
【総数】(実数) (構成比)	626	327 52.2 %	284 45.4 %	232 37.1 %	147 23.5 %	145 23.2 %	128 20.4 %	99 15.8 %	85 13.6 %	26 4.2 %
【都市規模】										
大都市	90	55.6	41.1	36.7	16.7	26.7	18.9	16.7	15.6	7.8
中都市	211	51.2	44.5	40.8	21.8	28.0	15.6	10.0	15.2	4.7
小都市	140	52.1	47.9	33.6	28.6	17.9	27.9	17.9	14.3	2.1
町村	185	51.9	46.5	35.7	24.9	20.0	21.1	20.5	10.3	3.2
【性別】										
男性	374	58.0	47.6	36.4	21.7	25.1	18.2	15.5	10.7	2.7
女性	252	43.7	42.1	38.1	26.2	20.2	23.8	16.3	17.9	6.3
【年齢】										
60～64歳	265	61.5	34.7	33.6	28.7	27.2	19.6	10.9	15.1	3.8
65～69歳	172	54.7	50.0	39.0	22.1	27.3	22.1	12.8	16.9	5.2
70～74歳	118	38.1	55.1	40.7	17.8	16.9	20.3	25.4	9.3	3.4
75～79歳	51	35.3	58.8	41.2	17.6	3.9	17.6	27.5	5.9	5.9
80歳以上	20	35.0	55.0	35.0	15.0	20.0	25.0	20.0	10.0	-
【最長職タイプ】										
農業タイプ	107	57.0	48.6	25.2	23.4	25.2	19.6	29.0	8.4	2.8
自営業タイプ	182	61.0	35.7	33.0	16.5	24.2	18.7	23.6	8.2	3.3
雇用者タイプ	325	44.9	50.5	43.4	27.7	22.2	21.5	7.7	18.5	5.2
その他	12	75.0	25.0	33.3	16.7	16.7	25.0	-	8.3	-
【経済的な暮らし向き】(*)										
まったく心配はない	100	35.0	51.0	48.0	5.0	17.0	21.0	20.0	10.0	5.0
それほど心配はない	334	45.8	53.3	41.0	20.4	22.2	24.0	15.9	15.9	5.4
多少心配である	149	70.5	30.9	28.2	37.6	27.5	15.4	13.4	12.8	2.0
非常に心配である	42	81.0	19.0	9.5	40.5	31.0	9.5	14.3	7.1	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-

* まったく心配ない：「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」
 それほど心配ない：「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」
 多少心配である：「家計にゆとりがなく、多少心配である」
 非常に心配である：「家計が苦しく、非常に心配である」

(続き)	その他	特に理由 はない	回答計
【総 数】(実数)	22	10	1,505
(構成比)	3.5 %	1.6 %	240.4 %
【都市規模】			
大都市	1.1	1.1	237.8
中都市	3.8	1.9	237.4
小都市	4.3	2.1	248.6
町村	3.8	1.1	238.9
【性別】			
男性	3.7	1.6	241.2
女性	3.2	1.6	239.3
【年齢】			
60～64歳	3.4	1.9	240.4
65～69歳	2.9	1.7	254.7
70～74歳	2.5	0.8	230.5
75～79歳	5.9	2.0	221.6
80歳以上	10.0	-	225.0
【最長職タイプ】			
農業タイプ	3.7	1.9	244.9
自営業タイプ	2.7	2.2	229.1
雇用者タイプ	4.0	0.9	246.5
その他	-	8.3	208.3
【経済的な暮らし向き】(*)			
まったく心配はない	4.0	4.0	220.0
それほど心配ない	3.0	0.9	247.6
多少心配である	4.7	1.3	244.3
非常に心配である	2.4	2.4	216.7
その他	-	-	-
わからない	-	-	300.0

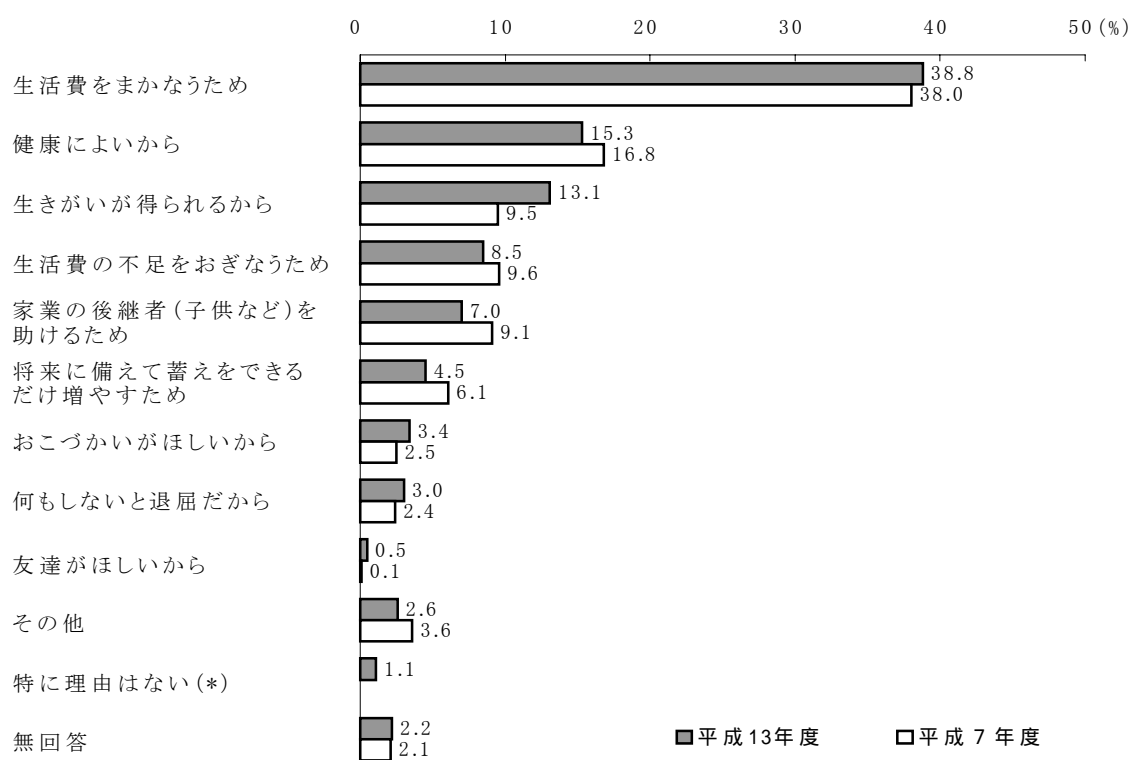
* まったく心配ない：「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」
 それほど心配ない：「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」
 多少心配である：「家計にゆとりがなく、多少心配である」
 非常に心配である：「家計が苦しく、非常に心配である」

(5) 収入のある仕事をしている最大の理由（Q4）

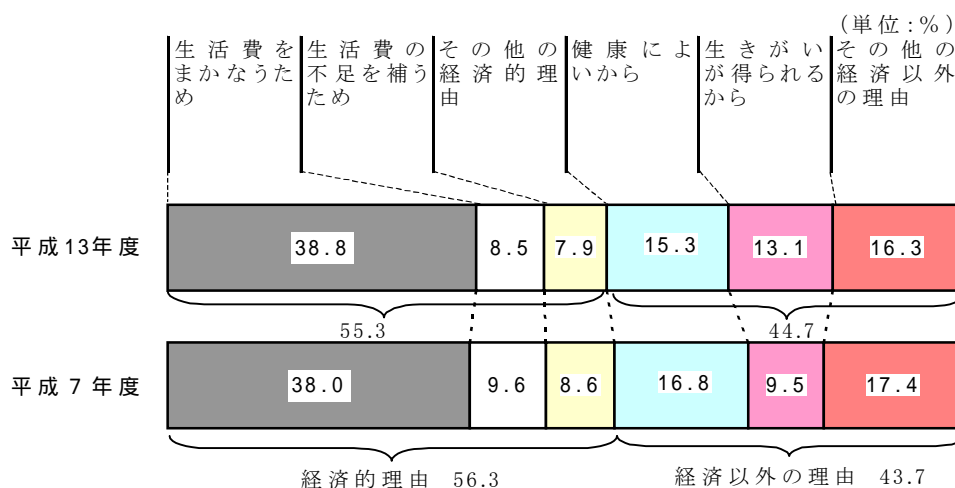
現在、収入のある仕事をしている人に、「仕事をしている最も大きな理由は何か」について尋ねてみると、「生活費をまかなうため」が38.8%と最も多く、以下、「健康によいから」15.3%、「生きがいが得られるから」13.1%、「生活費の不足をおぎなうため」8.5%、「家業の後継者(子供など)を助けるため」7.0%、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」4.5%、「おこづかいがほしいから」3.4%、「何もしないと退屈だから」3.0%、「友達がほしいから」0.5%の順となっている。

前回調査と比較すると、「生きがい得られるから」が3.6ポイント増加している。

図1-5 収入のある仕事をしている最大の理由（Q4）



* 「特に理由はない」は、今回加えた項目である。



都市規模別にみると、「家業の後継者（子供など）を助けるため」の割合が、町村で11.9%と高くなっている。

性別にみると、「生活費をまかなうため」（男性43.0%、女性32.5%）は、男性の方が割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢が低いほど「生活費をまかなうため」（60～64歳46.8%、65～69歳40.1%）の割合が高く、年齢が高いほど「生きがいを得られるから」の割合が高くなっている。

最長職別にみると、雇用者タイプで「生活費をまかなうため」の割合が低く、「家業の後継者（子供など）を助けるため」は、農業タイプで割合が高くなっている。

表1-5 収入のある仕事をしている最大の理由（Q4）

	該当数	生活費をまかなうため	健康によいから	生きがい得られるから	生活費の不足をなうため	家業の後継者（子供など）を助けるため	将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため	おこづかいがほしいから	何もしないと退屈だから	友達がほしいから
【総数】(実数) (構成比)	626	243 38.8 %	96 15.3 %	82 13.1 %	53 8.5 %	44 7.0 %	28 4.5 %	21 3.4 %	19 3.0 %	3 0.5 %
【都市規模】										
大都市	90	41.1	12.2	16.7	6.7	5.6	7.8	4.4	3.3	-
中都市	211	40.3	12.8	16.1	7.1	2.4	5.7	3.8	4.3	0.9
小都市	140	34.3	17.1	11.4	11.4	8.6	2.9	2.9	4.3	-
町村	185	39.5	18.4	9.2	8.6	11.9	2.7	2.7	0.5	0.5
【性別】										
男性	374	43.0	16.8	11.5	7.0	5.9	4.5	1.9	2.7	-
女性	252	32.5	13.1	15.5	10.7	8.7	4.4	5.6	3.6	1.2
【年齢】										
60～64歳	265	46.8	12.5	9.4	9.8	3.0	5.3	3.4	3.0	0.8
65～69歳	172	40.1	16.9	12.2	9.3	5.8	3.5	4.7	3.5	-
70～74歳	118	27.1	17.8	18.6	5.9	15.3	5.1	2.5	1.7	0.8
75～79歳	51	25.5	19.6	19.6	5.9	15.7	-	-	3.9	-
80歳以上	20	25.0	15.0	20.0	5.0	-	10.0	5.0	5.0	-
【最長職タイプ】										
農業タイプ	107	39.3	11.2	4.7	9.3	17.8	3.7	1.9	3.7	0.9
自営業タイプ	182	47.8	11.0	12.6	4.9	10.4	3.8	2.2	2.2	-
雇用者タイプ	325	33.2	19.4	16.3	10.2	1.8	4.9	4.6	3.4	0.6
その他	12	50.0	8.3	8.3	8.3	-	8.3	-	-	-

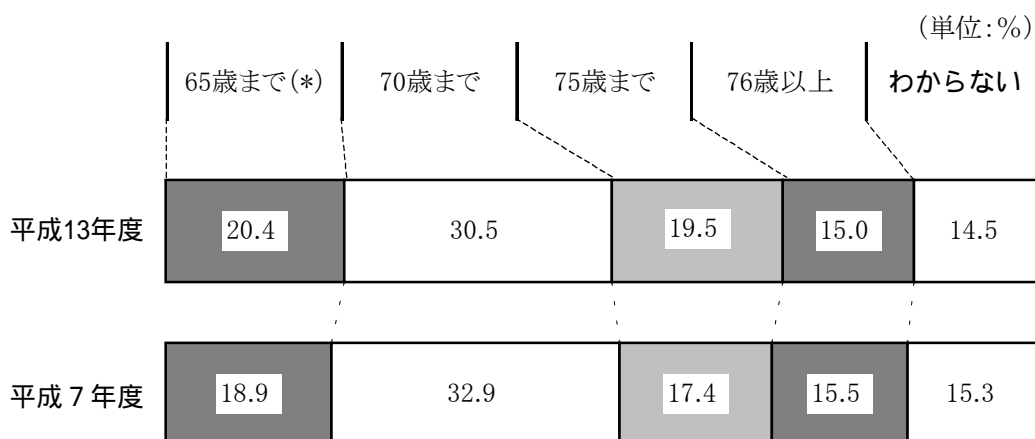
(続き)	該当数	その他	特に理由 はない	無回答
【総数】(実数)	626	16	7	14
(構成比)		2.6 %	1.1 %	2.2 %
【都市規模】				
大都市	90	-	1.1	1.1
中都市	211	2.4	1.4	2.8
小都市	140	3.6	1.4	2.1
町村	185	3.2	0.5	2.2
【性別】				
男性	374	3.2	0.8	2.7
女性	252	1.6	1.6	1.6
【年齢】				
60～64歳	265	1.9	1.5	2.6
65～69歳	172	1.7	1.2	1.2
70～74歳	118	2.5	-	2.5
75～79歳	51	5.9	2.0	2.0
80歳以上	20	10.0	-	5.0
【最長職タイプ】				
農業タイプ	107	3.7	-	3.7
自営業タイプ	182	1.6	2.2	1.1
雇用者タイプ	325	2.8	0.6	2.2
その他	12	-	8.3	8.3

(6) 仕事に就いて収入を得られる年齢 (Q5)

現在、収入のある仕事をしている人に、「仕事に就いて収入を得られるのは何歳くらいまでと思うか」について尋ねてみると、60～64歳で「65歳まで」(42.6%)、65～69歳で「70歳まで」(48.8%)、70～74歳で「75歳まで」(49.2%)の割合が高く、75歳以上では「76歳以上」(75～79歳54.9%、80歳以上65.0%)の割合が5割を超えている。

性別にみると、「75歳まで」(男性21.4%、女性16.7%)は男性の方が割合が高くなっている。

図1-6 仕事に就いて収入を得られる年齢 (Q5)



*平成7年度の「65歳まで」は、「60歳まで」と「65歳まで」との合計値である。

表1-6 仕事に就いて収入を得られる年齢 (Q5)

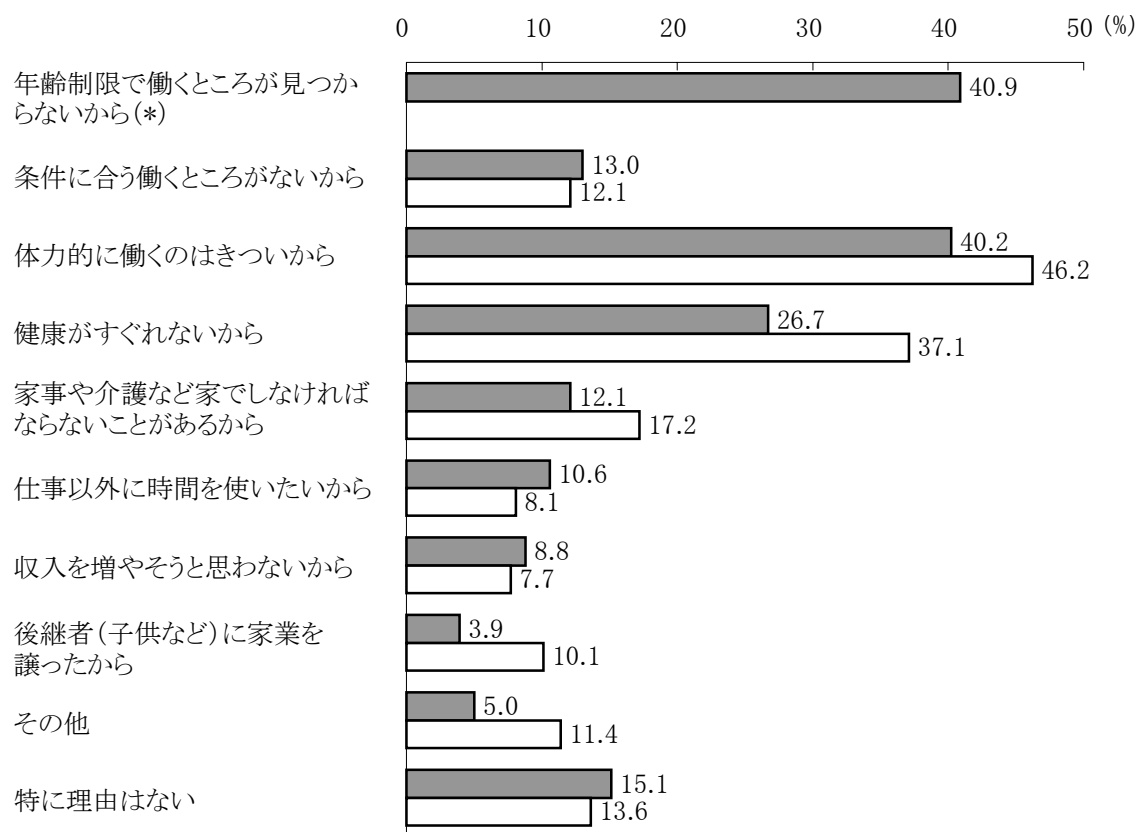
	該当数	65歳まで	70歳まで	75歳まで	76歳以上	わからない
【総数】(実数)	626	128	191	122	94	91
(構成比)		20.4 %	30.5 %	19.5 %	15.0 %	14.5 %
【都市規模】						
大都市	90	15.6	31.1	16.7	15.6	21.1
中都市	211	26.1	32.7	14.7	15.2	11.4
小都市	140	20.7	31.4	17.9	15.0	15.0
町村	185	16.2	27.0	27.6	14.6	14.6
【性別】						
男性	374	19.0	30.5	21.4	16.0	13.1
女性	252	22.6	30.6	16.7	13.5	16.7
【年齢】						
60～64歳	265	42.6	37.0	5.3	4.5	10.6
65～69歳	172	8.7	48.8	23.8	9.9	8.7
70～74歳	118	-	7.6	49.2	20.3	22.9
75～79歳	51	-	-	17.6	54.9	27.5
80歳以上	20	-	-	-	65.0	35.0
【最長職タイプ】						
農業タイプ	107	7.5	23.4	28.0	19.6	21.5
自営業タイプ	182	13.7	29.1	19.8	19.8	17.6
雇用者タイプ	325	28.3	34.2	16.9	10.8	9.8
その他	12	25.0	16.7	8.3	16.7	33.3

(7) 収入のある仕事をしていない理由 (Q 6)

現在、収入のある仕事をしていない人に、「仕事をしていない理由は何か」について尋ねてみると、「年齢制限で働くところが見つからないから」が40.9%と最も多く、以下「体力的に働くのはきついから」40.2%、「健康がすぐれないから」26.7%、「条件に合う働くところがないから」13.0%、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」12.1%、「仕事以外に時間を使いたいから」10.6%、「収入を増やそうと思わないから」8.8%、「後継者(子供など)に家業を譲ったから」3.9%の順になっている。

前回調査と比較すると、今回調査で選択肢(年齢制限で働くところが見つからないから)が増えたことから一概にはいえないが、「健康が優れないから」が10.4ポイント、「体力的に働くのはきついから」が6.0ポイント減少している。

図 1-7 収入のある仕事をしていない理由 (Q 6) (3 つまでの複数回答)



* 「年齢制限で働くところが見つからないから」は、今回加えた項目である。

都市規模別にみると、「年齢制限で働くところが見つからないから」は大都市で低い割合となっている。

性別にみると、「条件に合う働くところがないから」(男性17.1%、女性10.5%)、「仕事以外に時間を使いたいから」(男性14.8%、女性8.0%)は男性の方が、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」(男性5.2%、女性16.5%)、「体力的に働くのはきついためから」(男性36.8%、女性42.3%)は女性の方が割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、65～69歳で「年齢制限で働くところが見つからないから」(45.5%)の割合が高くなっている。また、「体力的に働くのはきついためから」、「健康がすぐれないから」は年齢が高くなるほど、「条件に合う働くところがないから」、「仕事以外に時間を使いたいから」は年齢が低くなるほど割合は高くなっている。

最長職別にみると、「年齢制限で働くところが見つからないから」は雇用者タイプで割合が高く、「体力的に働くのはきついためから」、「健康がすぐれないから」は農業タイプ、自営業タイプで割合が高くなっている。

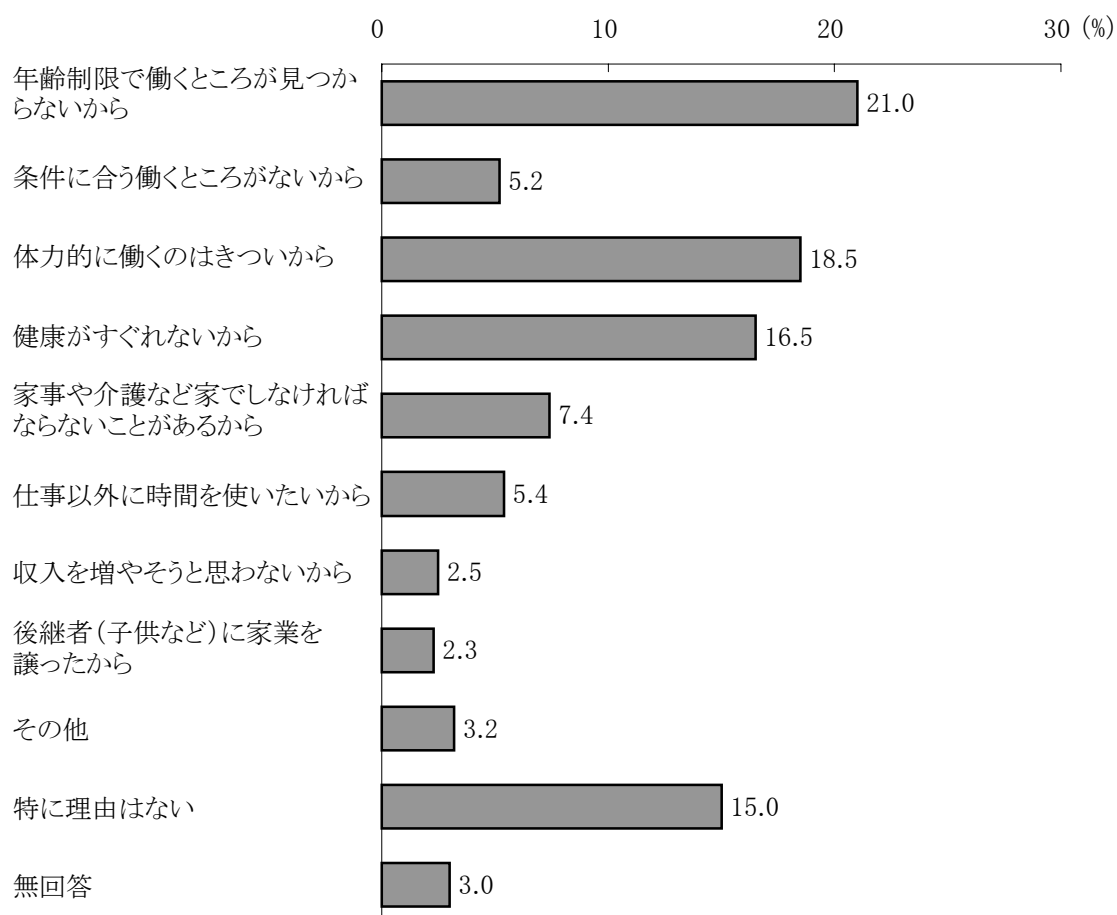
表1-7 収入のある仕事をしていない理由(Q6)(3つまでの複数回答)

	該当数	年齢制限で働くところが見つからないから	条件に合う働くところがないから	体力的に働くのはきついためから	健康がすぐれないから	家事や介護など家でしなければならないことがあるから	仕事以外に時間を使いたいから	収入を増やそうと思わないから	後継者(子供など)に家業を譲ったから	その他	特に理由はない	回答計
【総数】(実数) (構成比)	1,451	594 40.9 %	189 13.0 %	583 40.2 %	388 26.7 %	176 12.1 %	154 10.6 %	128 8.8 %	57 3.9 %	72 5.0 %	219 15.1 %	2,560 176.4 %
【都市規模】												
大都市	260	35.4	11.5	43.5	30.0	7.7	10.0	10.4	1.5	3.8	17.7	171.5
中都市	515	43.5	13.0	38.3	20.8	10.3	13.4	10.9	2.9	4.7	15.3	173.0
小都市	276	41.7	13.8	40.6	30.4	14.9	9.8	7.6	5.4	4.7	13.4	182.2
町村	400	40.8	13.5	40.3	29.8	15.5	8.0	6.0	5.8	6.3	14.3	180.0
【性別】												
男性	562	42.9	17.1	36.8	28.3	5.2	14.8	10.0	4.3	6.2	14.1	179.5
女性	889	39.7	10.5	42.3	25.8	16.5	8.0	8.1	3.7	4.2	15.7	174.5
【年齢】												
60～64歳	242	39.7	22.3	24.0	14.0	16.1	17.4	9.5	1.2	8.3	11.6	164.0
65～69歳	363	45.5	18.7	33.6	24.2	16.3	12.7	9.9	2.2	4.7	11.8	179.6
70～74歳	387	41.1	11.1	43.2	30.0	11.6	10.6	7.2	1.8	4.1	16.3	177.0
75～79歳	279	40.9	5.7	50.2	31.2	7.9	7.2	10.8	9.0	2.9	17.9	183.5
80歳以上	180	33.3	4.4	53.3	35.0	6.1	2.8	6.1	7.8	6.1	19.4	174.4
【最長職タイプ】												
農業タイプ	171	36.3	8.2	52.0	36.3	17.0	5.8	4.7	14.0	1.8	10.5	186.5
自営業タイプ	222	32.0	13.1	49.1	34.7	12.6	7.2	9.9	7.2	5.9	13.1	184.7
雇用者タイプ	999	43.4	14.0	36.0	23.3	11.2	12.6	9.2	1.5	5.3	16.5	173.2
その他	59	45.8	10.2	42.4	27.1	11.9	3.4	10.2	3.4	5.1	11.9	171.2

(8) 収入のある仕事をしていない最大の理由 (Q6)

現在、収入のある仕事をしていない人に、「仕事をしていない最も大きな理由は何か」について尋ねてみると、「年齢制限で働くところが見つからないから」が21.0%と最も多く、以下「体力的に働くのはきついから」18.5%、「健康がすぐれないから」16.5%、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」7.4%、「仕事以外に時間を使いたいから」5.4%、「条件に合う働くところがないから」5.2%、「収入を増やそうと思わないから」2.5%、「後継者(子供など)に家業を譲ったから」2.3%の順となっている。

図1-8 収入のある仕事をしていない最大の理由 (Q6)



注) 今回加えた項目である「年齢制限で働くところが見つからないから」に対する回答の割合が最も高かったため、平成7年度との比較は行っていない。

性別にみると、「条件に合う働くところがないから」(男性7.5%、女性3.7%)は男性の方が、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」(男性2.7%、女性10.3%)は女性の方が割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、60～64歳で「条件に合う働くところがないから」、65～69歳で「年齢制限で働くところが見つからないから」、75歳以上で「体力的に働くのはきついから」の割合が高くなっている。

最長職別にみると、雇用者タイプで「年齢制限で働くところが見つからないから」、農業タイプ、自営業タイプで「体力的に働くのはきついから」、「健康がすぐれないから」の割合が高くなっている。

1か月当たりの平均収入額別にみると、「健康がすぐれないから」は平均収入が低いほど、割合が高くなっている。

表1-8 収入のある仕事をしていない最大の理由(Q6)

	該当数	年齢制限で働くところが見つからないから	体力的に働くのはきついから	健康がすぐれないから	家事や介護など家でしなければならないことがあるから	仕事以外に時間を使いたいから	条件に合う働くところがないから	収入を増やそうと思わないから	後継者(子供など)に家業を譲ったから	その他	特に理由はない	無回答
【総数】(実数)	1,451	304	269	240	107	78	75	37	34	47	217	43
(構成比)		21.0 %	18.5 %	16.5 %	7.4 %	5.4 %	5.2 %	2.5 %	2.3 %	3.2 %	15.0 %	3.0 %
【性別】												
男性	562	21.9	16.0	18.7	2.7	7.1	7.5	2.8	2.3	3.9	14.1	3.0
女性	889	20.4	20.1	15.2	10.3	4.3	3.7	2.4	2.4	2.8	15.5	2.9
【年齢】												
60～64歳	242	24.0	7.4	12.0	11.2	7.9	13.6	2.9	1.2	5.8	11.6	2.5
65～69歳	363	26.2	14.0	16.3	10.2	6.9	5.0	2.5	1.7	3.0	11.6	2.8
70～74歳	387	19.9	20.2	17.8	7.0	6.2	4.9	2.3	1.0	2.1	16.0	2.6
75～79歳	279	17.9	27.2	16.1	4.3	2.9	1.4	3.2	4.3	2.2	17.9	2.5
80歳以上	180	13.3	25.6	21.1	2.2	1.1	0.6	1.7	5.0	4.4	19.4	5.6
【最長職タイプ】												
農業タイプ	171	13.5	27.5	24.6	9.9	1.8	1.8	0.6	7.0	-	10.5	2.9
自営業タイプ	222	13.5	21.6	22.5	6.3	2.3	3.6	3.6	5.4	5.0	12.6	3.6
雇用者タイプ	999	23.9	16.3	13.7	7.0	6.9	6.1	2.7	0.8	3.5	16.4	2.6
その他	59	20.3	18.6	18.6	10.2	1.7	5.1	1.7	3.4	1.7	11.9	6.8
【1か月収入額】												
5万円未満	62	21.0	16.1	29.0	3.2	-	4.8	1.6	4.8	4.8	12.9	1.6
5～10万円未満	177	17.5	26.6	27.7	7.3	0.6	3.4	1.1	5.6	2.3	6.8	1.1
10～15万円未満	235	25.1	21.3	20.0	7.7	1.7	3.4	1.3	1.7	2.1	12.3	3.4
15～20万円未満	192	17.7	20.3	18.8	6.8	6.3	8.3	1.0	1.6	3.1	13.5	2.6
20～25万円未満	226	24.8	17.3	12.8	8.8	4.9	4.0	1.8	1.8	2.2	18.1	3.5
25～30万円未満	149	30.2	12.8	12.8	6.0	5.4	6.7	2.0	0.7	2.0	18.1	3.4
30～40万円未満	150	18.0	12.7	10.0	10.7	12.7	4.0	7.3	1.3	5.3	13.3	4.7
40～60万円未満	95	20.0	14.7	4.2	4.2	17.9	8.4	1.1	2.1	6.3	20.0	1.1
60～80万円未満	19	10.5	10.5	-	21.1	15.8	-	5.3	-	5.3	26.3	5.3
80万円以上	14	7.1	-	-	14.3	7.1	-	28.6	-	14.3	28.6	-
収入はない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	132	12.9	22.7	17.4	4.5	1.5	6.8	3.8	3.8	3.0	19.7	3.8

(9) 働くために必要な条件 (Q6-SQ)

Q6で「条件に合う働くところがないから」と答えた人に、「働くために最も必要な条件は何か」について尋ねてみると、「体力的に軽い仕事であること」が25.9%、「経験が活かせること」21.7%、「仕事先を探すのが容易であること」12.2%、「賃金」11.6%となっている。

図1-9 働くために必要な条件 (Q6-SQ)

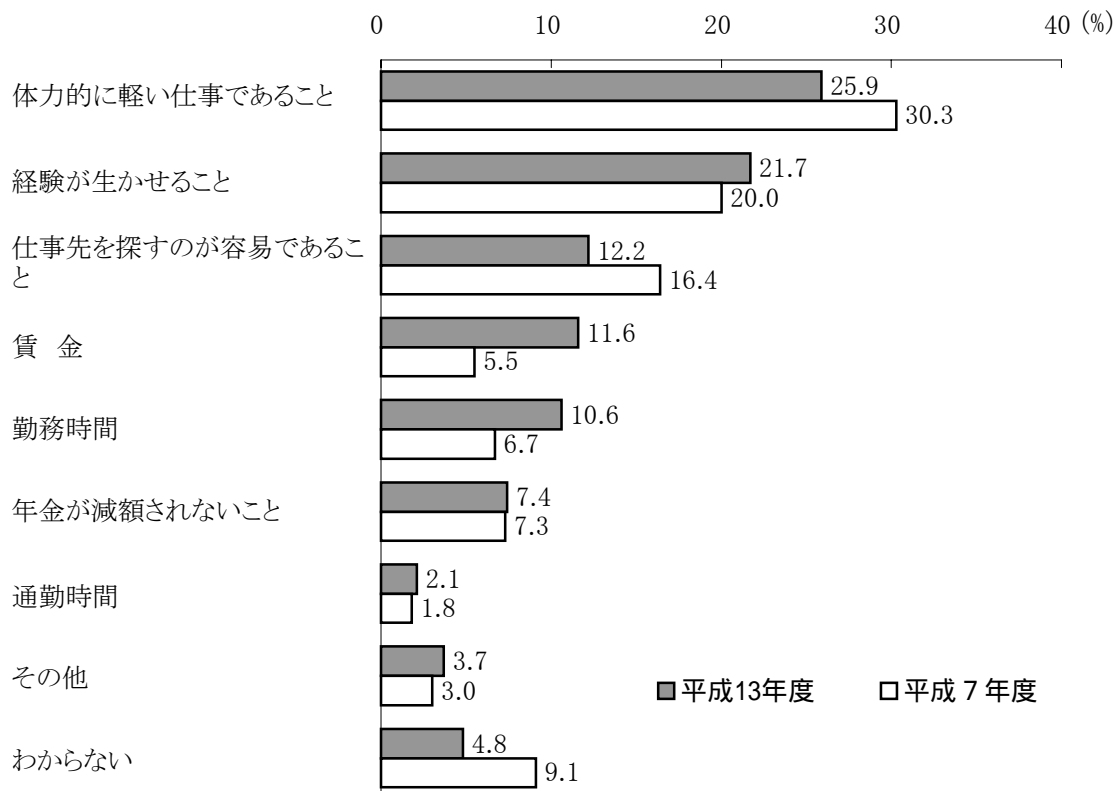


表1-9 働くために必要な条件 (Q6-SQ)

	該当数	体力的に 軽い仕事 であるこ と	経験が生 かせるこ と	仕事先を 探すのが 容易であ ること	賃 金	勤務時間	年金が減 額されな いこと	通勤時間	その他	わから ない
【総 数】(実数)	189	49	41	23	22	20	14	20	7	9
(構成比)		25.9 %	21.7 %	12.2 %	11.6 %	10.6 %	7.4 %	2.1 %	3.7 %	4.8 %
【性別】										
男性	96	20.8	36.5	10.4	8.3	5.2	10.4	-	4.2	4.2
女性	93	31.2	6.5	14.0	15.1	16.1	4.3	4.3	3.2	5.4
【年齢】										
60～64歳	54	18.5	29.6	13.0	11.1	16.7	3.7	1.9	1.9	3.7
65～69歳	68	27.9	13.2	16.2	7.4	11.8	11.8	2.9	5.9	2.9
70～74歳	43	30.2	23.3	11.6	14.0	2.3	9.3	2.3	4.7	2.3
75～79歳	16	43.8	25.0	-	18.8	12.5	-	-	-	-
80歳以上	8	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	50.0

(10) 収入のある仕事をしてきた年齢（Q7）

現在、収入のある仕事をしていない人に、「収入のある仕事を何歳ぐらいまでしていたか」について尋ねてみると、「60歳まで」30.2%、「65歳まで」21.2%、「55歳まで」9.6%、「70歳まで」8.6%等の順となっており、「収入を得る仕事をしたことはない」11.4%となっている。

性別にみると、男性99.1%、女性79.9%が仕事をしてきたことがあり、55歳までの各階級では女性の割合が、56歳以上の各階級では男性の割合が高くなっている。

表1-10 収入のある仕事をしてきた年齢（Q7）

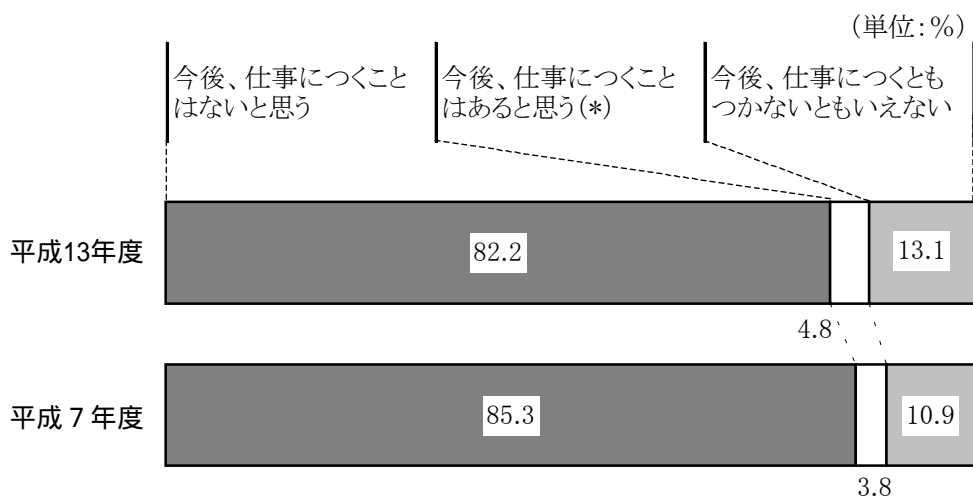
	該当数	50歳以前	50歳まで	55歳まで	60歳まで	65歳まで	70歳まで	75歳まで	76歳以上	収入を得る仕事をしたことはない	わからない	
平成13年度												
【総数】(実数)	1,451	122	75	140	438	307	125	37	23	165	19	
(構成比)		8.4 %	5.2 %	9.6 %	30.2 %	21.2 %	8.6 %	2.5 %	1.6 %	11.4 %	1.3 %	
			53.4									
【性別】												
男性	562	1.2	0.5	6.6	39.5	32.4	12.3	4.1	2.5	—	0.9	
女性	889	12.9	8.1	11.6	24.3	14.1	6.3	1.6	1.0	18.6	1.6	
【年齢】												
60～64歳	242	10.7	7.0	11.2	61.2	—	—	—	—	9.1	0.8	
65～69歳	363	11.0	6.1	11.6	32.8	29.2	—	—	—	8.5	0.8	
70～74歳	387	8.0	2.8	9.8	20.9	30.2	14.2	—	—	11.9	2.1	
75～79歳	279	6.8	5.7	9.0	19.7	18.6	14.3	7.2	1.8	15.1	1.8	
80歳以上	180	3.3	5.0	4.4	19.4	17.8	16.7	9.4	10.0	13.3	0.6	
【最長職タイプ】												
農業タイプ	171	3.5	5.3	5.3	24.0	25.7	15.2	7.0	2.3	10.5	1.2	
自営業タイプ	222	8.1	5.0	9.9	18.0	22.5	13.5	5.0	3.6	12.2	2.3	
雇用者タイプ	999	9.3	5.2	10.5	33.5	20.8	6.4	1.3	1.1	10.8	1.0	
その他	59	8.5	5.1	6.8	37.3	8.5	8.5	1.7	—	20.3	3.4	
平成7年度												
【総数】(実数)	1,363	612				267	137	23	12	261	51	
(構成比)		44.9(*)				%	19.6 %	10.1 %	1.7 %	0.9 %	19.1 %	3.7 %

*平成7年度は、調査項目を「60歳まで」としており、それ以下の年齢の項目は調査していない。

(11) 今後、収入を得られる仕事につく意向（Q8）

現在、収入のある仕事をしていない人に、「今後、収入の得られる仕事につく意向があるか」について尋ねてみると、「今後、仕事につくことはないと思う」が82.2%と8割以上を占め、「今後、仕事につくともつかないともいえない」13.1%、「今後、仕事につくことはあると思う」4.8%の順になっている。

図 1-10 今後、収入を得られる仕事につく意向（Q8）



*平成7年度の「今後、仕事につくことはあると思う」は、何歳くらいまで仕事につく意向があるかたずねた数値の合計である。

性別にみると、「今後、仕事につくことはないと思う」(男性77.6%、女性85.0%)は男性の割合が低くなっている。

年齢階級別にみると、年齢の低い方が「今後、仕事につくことはないと思う」の割合は低く、「今後、仕事につくことはあると思う」、「今後仕事につくかなんともいえない」の割合が高くなっている。

表 1-11 今後、収入を得られる仕事につく意向（Q8）

	該当数	今後、仕事につくことはないと思う	今後、仕事につくことはあると思う	今後仕事につくかなんともいえない
【総数】(実数)	1,451	1,192	69	190
(構成比)		82.2 %	4.8 %	13.1 %
【性別】				
男性	562	77.6	7.5	14.9
女性	889	85.0	3.0	11.9
【年齢】				
60～64歳	242	62.4	15.7	21.9
65～69歳	363	76.6	6.1	17.4
70～74歳	387	88.4	1.6	10.1
75～79歳	279	91.8	1.1	7.2
80歳以上	180	91.7	-	8.3

(12) 配偶者の収入のある仕事の有無 (Q 9)

「配偶者は、現在、収入のある仕事をしているか、それは主にどのような仕事か」についてみると、「仕事はしていない」が46.3%と半数近くを占め、仕事をしている人では、「自営業 [商工サービス業・自由業 (家族従業者を含む) など]」7.5%、「臨時・パート」6.7%、「農林漁業 (家族従業者を含む)」6.6%、「常勤の被雇用者」4.7%等の順となっている。

前回調査と比較すると、「仕事はしていない」が4.1ポイント増加し、「農林漁業 (家族従業者を含む)」が3.5ポイント減少している。

性別にみると、「臨時・パート」(男性10.3%、女性3.4%)、「仕事はしていない」(男性57.6%、女性37.0%)は、男性の割合が高く、「配偶者はいない」(男性11.8%、女性39.1%)は、女性の割合が高くなっている。

図 1 - 11 配偶者の収入のある仕事の有無 (Q 9)

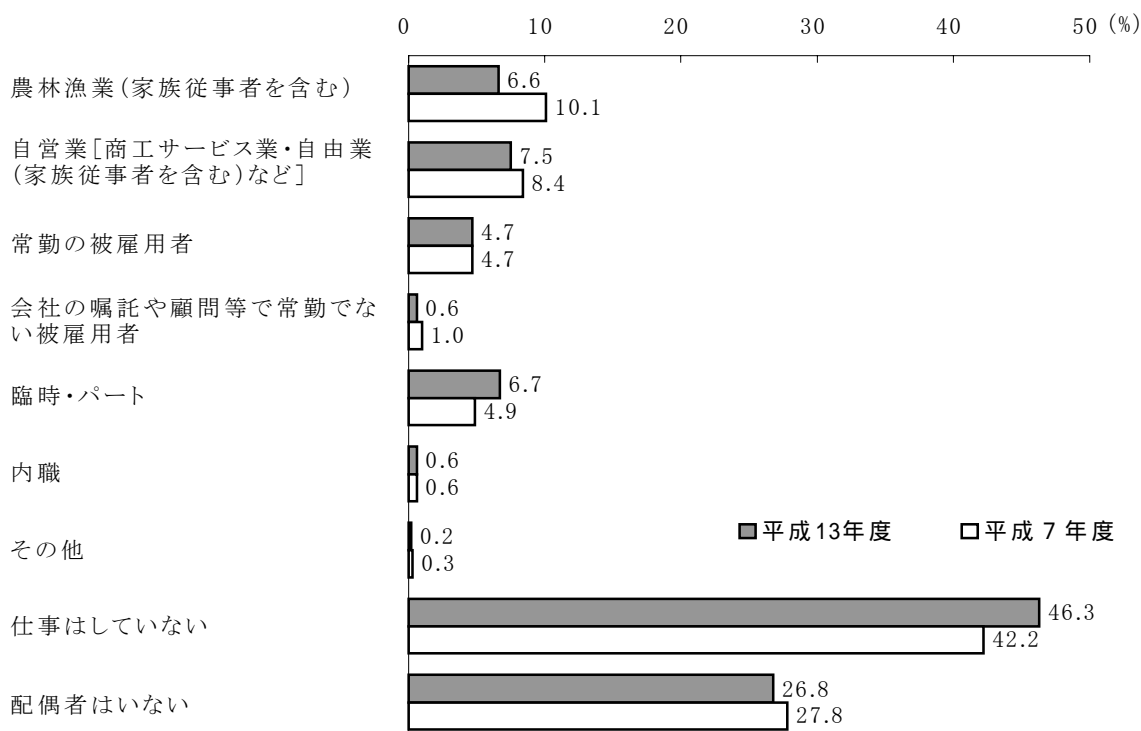


表 1 - 12 配偶者の収入のある仕事の有無 (Q 9)

	総数	農林漁業 (家族従業者を含む)	自営業 [商工サービス業・自由業(家族従業者を含む)など]	常勤の被雇用者	会社の嘱託や顧問等で常勤でない被雇用者	臨時・パート	内職	その他	仕事はしていない	配偶者はいない
【総数】(実数) (構成比)	2,077	137 6.6 %	155 7.5 %	97 4.7 %	13 0.6 %	140 6.7 %	13 0.6 %	5 0.2 %	961 46.3 %	556 26.8 %
【性別】										
男性	936	6.2	7.4	4.6	0.2	10.3	1.3	0.2	57.6	11.8
女性	1,141	6.9	7.5	4.7	1.0	3.4	0.1	0.3	37.0	39.1
【年齢】										
60～64歳	507	5.3	13.2	12.6	2.0	12.6	1.2	0.4	40.2	12.4
65～69歳	535	8.6	6.7	4.7	0.6	10.1	0.7	0.4	45.6	22.6
70～74歳	505	6.3	6.7	0.6	—	3.6	0.2	0.2	53.9	28.5
75～79歳	330	7.6	3.3	1.5	—	1.2	0.6	—	48.8	37.0
80歳以上	200	3.5	3.5	—	—	—	—	—	40.0	53.0

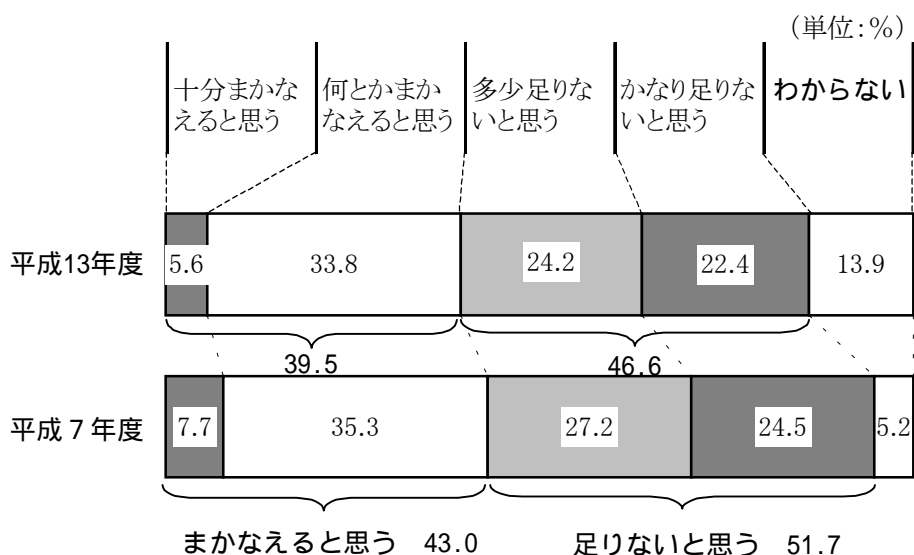
(13) 就業による収入を得られなくなった場合の年金による生活費（Q10）

本人、または配偶者のいずれかが就業している人に、「将来、就業による収入が得られなくなった場合、毎月の生活費の支出を年金（公的年金、私的年金を含めたもの）でまかなえると思うか」について尋ねてみると、「十分まかなえると思う」が5.6%、「何とかまかなえると思う」が33.8%と、合計39.5%が『まかなえると思う』と答えている。一方、「多少足りないと思う」が24.2%、「かなり足りないと思う」が22.4%と、合計46.6%が『足りないと思う』と答えている。

また、「わからない」が13.9%となっている。

前回調査と比較すると、「わからない」が8.7ポイント増加し、『まかなえると思う』が3.5ポイント、『足りないと思う』が5.1ポイント減少している。

図1-12 年金による生活費（Q10）



都市規模別にみると、『まかなえると思う』は中都市(43.5%)、小都市(42.8%)で割合が高く、『足りないと思う』は大都市と町村で高い割合となっている。

同居家族タイプ別にみると、「夫婦二人」、「同居(子が主たる生計)」で『まかなえると思う』の割合が高く、「同居(親が主たる生計)」で『足りないと思う』の割合が高くなっている。

表 1-13 年金による生活費 (Q10)

	該当数	まかなえると思う			足りないと思う			わからない
		(計)	十分まかなえると思う	何とかまかなえると思う	(計)	多少足りないと思う	かなり足りないと思う	
【総数】(実数) (構成比)	854	337 39.5 %	48 5.6 %	289 33.8 %	398 46.6 %	207 24.2 %	191 22.4 %	119 13.9 %
【都市規模】								
大都市	119	31.9	8.4	23.5	47.1	21.0	26.1	21.0
中都市	285	43.5	7.4	36.1	43.5	23.5	20.0	13.0
小都市	187	42.8	3.7	39.0	46.0	22.5	23.5	11.2
町村	263	36.1	3.8	32.3	50.2	27.8	22.4	13.7
【性別】								
男性	469	41.2	6.8	34.3	45.6	24.1	21.5	13.2
女性	385	37.4	4.2	33.2	47.8	24.4	23.4	14.8
【年齢】								
60～64歳	344	34.9	5.2	29.7	52.6	27.9	24.7	12.5
65～69歳	255	36.9	4.3	32.5	50.2	25.9	24.3	12.9
70～74歳	154	47.4	7.1	40.3	37.7	16.9	20.8	14.9
75～79歳	74	50.0	9.5	40.5	29.7	17.6	12.2	20.3
80歳以上	27	48.1	3.7	44.4	33.3	22.2	11.1	18.5
【同居家族タイプ】								
単身	36	19.4	—	19.4	30.6	16.7	13.9	50.0
夫婦二人	336	44.9	7.4	37.5	44.3	23.8	20.5	10.7
同居(親が主たる生計)	287	33.8	4.2	29.6	53.5	27.5	25.8	12.9
同居(子が主たる生計)	92	43.5	6.5	37.0	38.0	16.3	21.7	18.5
同居(その他)	12	33.3	8.3	25.0	41.7	8.3	33.3	25.0
分けている	85	40.0	3.5	36.5	51.8	29.4	22.4	8.2
わからない	6	66.7	16.7	50.0	16.7	16.7	—	16.7

* 「同居」、「分けている」、「わからない」については、配偶者以外の同居人のいる世帯を、主な家計の支え手が誰であるかで分類した。

同居(親が主たる生計):家計が一緒に、主に「あなた自身」、「配偶者」の収入で家計を支えている世帯

同居(子が主たる生計):家計が一緒に、主に「独身の子ども」、「結婚している子ども(その配偶者を含む)」の収入で家計を支えている世帯

同居(その他):家計が一緒に、上記以外の同居人の収入で家計を支えている世帯

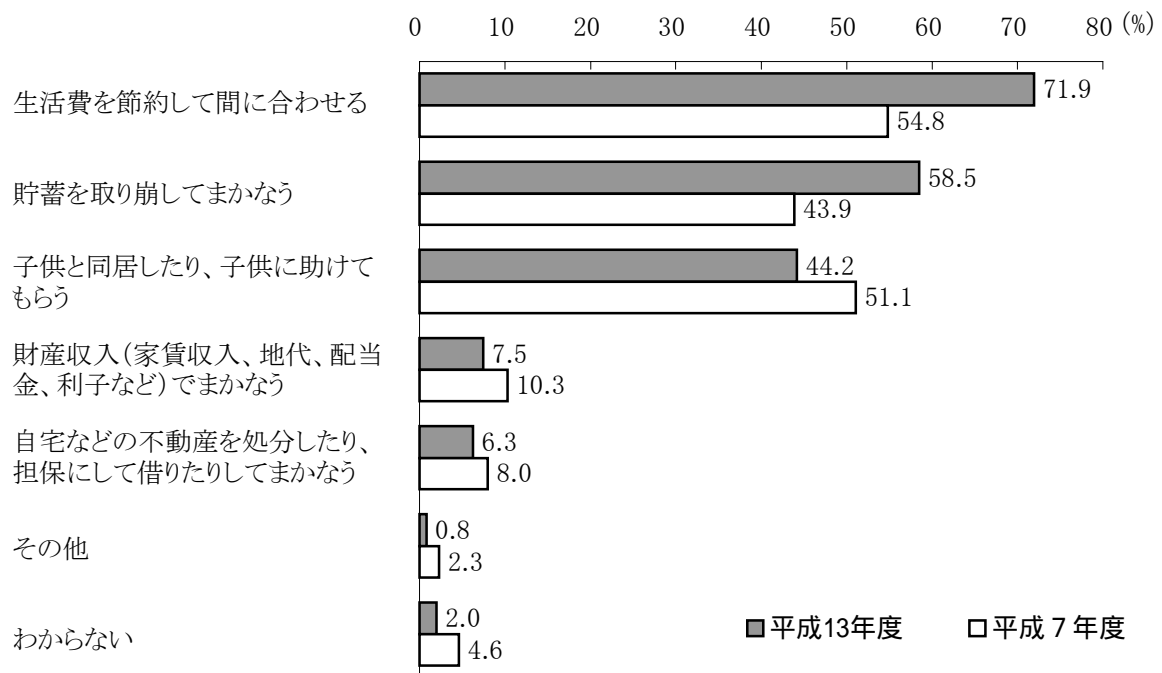
分けている:同居人との家計を分けている世帯

(14) 生活費不足分の対応方法 (Q10- S Q)

Q10で毎月の生活費が年金で『足りないと思う』と答えた人に、「足りない分をどのように対応するか」について尋ねてみると、「生活費を節約して間に合わせる」が71.9%と最も多く、以下「貯蓄を取り崩してまかなう」58.5%、「子供と同居したり、子供に助けをもらう」44.2%、「財産収入(家賃収入、地代、配当金、利子など)でまかなう」7.5%、「自宅などの不動産を処分したり、担保にして借りたりしてまかなう」6.3%の順になっている。

前回調査と比較すると、「生活費を節約して間に合わせる」が17.1ポイント、「貯蓄を取り崩してまかなう」が14.6ポイント増加し、「子供と同居したり、子供に助けをもらう」が6.9ポイント減少している。

図 1 -13 生活費不足分の対応方法 (Q10- S Q) (3 つまでの複数回答)



都市規模別にみると、「生活費を節約して間に合わせる」は小都市(76.7%)、町村(75.8%)で割合が高くなっている。また、「子供と同居したり、子供に助けてもらう」は町村(55.3%)、小都市(47.7%)で割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「生活費を節約して間に合わせる」は60～64歳で79.0%など、年齢が低くなるほど割合が高く、「子供と同居したり、子供に助けてもらう」は70～74歳(58.6%)、75～79歳(50.0%)で割合が高くなっている。

最長職別にみると、「生活費を節約して間に合わせる」は雇用者タイプ(76.3%)、「貯蓄を取り崩してまかなう」は自営業タイプ(64.2%)、「子供と同居したり、子供に助けてもらう」は農業タイプ(64.1%)で割合が高くなっている。

表 1-14 生活費不足分の対応方法 (Q10-SQ)(3つまでの複数回答)

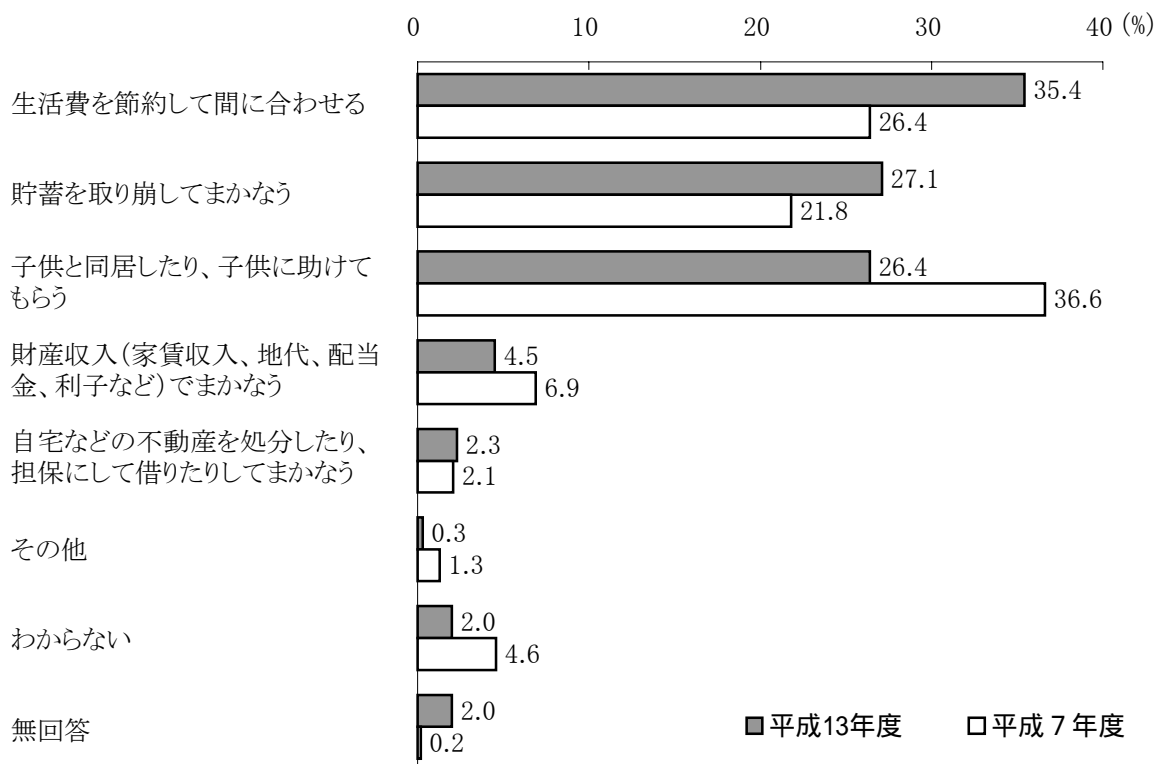
	該当数	生活費を節約して間に合わせる	貯蓄を取り崩してまかなう	子供と同居したり、子供に助けてもらう	財産収入(家賃収入、地代、配当金、利子など)でまかなう	自宅などの不動産を処分したり、担保にして借りたりしてまかなう	その他	わからない	回答計
【総数】(実数) (構成比)	398	286 71.9%	233 58.5%	176 44.2%	30 7.5%	25 6.3%	3 0.8%	8 2.0%	761 191.2%
【都市規模】									
大都市	56	66.1	62.5	35.7	7.1	1.8	-	-	173.2
中都市	124	66.9	63.7	33.9	12.9	5.6	-	1.6	184.7
小都市	86	76.7	60.5	47.7	7.0	7.0	2.3	3.5	204.7
町村	132	75.8	50.8	55.3	3.0	8.3	0.8	2.3	196.2
【性別】									
男性	214	71.5	60.3	43.9	7.9	7.5	0.9	1.9	193.9
女性	184	72.3	56.5	44.6	7.1	4.9	0.5	2.2	188.0
【年齢】									
60～64歳	181	79.0	59.7	39.2	7.2	6.6	1.1	2.2	195.0
65～69歳	128	71.1	58.6	43.8	7.8	6.3	0.8	1.6	189.8
70～74歳	58	63.8	60.3	58.6	3.4	6.9	-	1.7	194.8
75～79歳	22	45.5	45.5	50.0	18.2	-	-	4.5	163.6
80歳以上	9	55.6	55.6	44.4	11.1	11.1	-	-	177.8
【最長職タイプ】									
農業タイプ	78	73.1	47.4	64.1	2.6	14.1	-	3.8	205.1
自営業タイプ	123	65.9	64.2	36.6	13.0	8.1	-	1.6	189.4
雇用者タイプ	190	76.3	60.0	40.5	6.3	2.1	1.6	1.6	188.4
その他	7	42.9	42.9	57.1	-	-	-	-	142.9

(15) 生活費不足分の最も主要な対応方法 (Q10-SQ)

Q10で毎月の生活費が年金で『足りないと思う』と答えた人に、「足りない分の最も主要な対応方法は何か」について尋ねてみると、「生活費を節約して間に合わせる」が35.4%と最も多く、以下「貯蓄を取り崩してまかなう」27.1%、「子供と同居したり、子供に助けをもらう」26.4%、「財産収入(家賃収入、地代、配当金、利子など)でまかなう」4.5%、「自宅など不動産を処分したり、担保にして借りたりしてまかなう」2.3%の順になっている。

前回調査と比較すると、前回調査で最も割合の高かった「子供と同居したり、子供に助けをもらう」が10.2ポイント減少して3番目の割合となり、代わって「生活費を節約して間に合わせる」が9.0ポイント、「貯蓄を取り崩してまかなう」が5.3ポイント増加し、1番目、2番目に高い割合となっている。

図1-14 生活費不足分の最も主要な対応方法 (Q10-SQ)



都市規模別にみると、「生活費を節約して間に合わせる」は町村(40.9%)、小都市(39.5%)で、「貯蓄を取り崩してまかなう」は中都市(40.3%)、大都市(39.3%)で割合が高くなっている。また、「子供と同居したり、子供に助けてもらう」は町村(33.3%)で割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、60～64歳で「生活費を節約して間に合わせる」(41.4%)の割合が高く、「子供と同居したり、子供に助けてもらう」は70歳以上で約4割となっている。

最長職別にみると、雇用者タイプで「生活費を節約して間に合わせる」(42.1%)、自営業タイプで「貯蓄を取り崩してまかなう」(33.3%)、農業タイプで「子供と同居したり、子供に助けてもらう」(44.9%)の割合が高くなっている。

表 1-15 生活費不足分の最も主要な対応方法 (Q10-SQ)

	該当数	生活費を節約して間に合わせる	貯蓄を取り崩してまかなう	子供と同居したり、子供に助けてもらう	財産収入(家賃収入、地代、配当金、利子など)でまかなう	自宅などの不動産を処分したり、担保にして借りたりしてまかなう	その他	わからない	無回答
【総数】(実数) (構成比)	398	141 35.4%	108 27.1%	105 26.4%	18 4.5%	9 2.3%	1 0.3%	8 2.0%	8 2.0%
【都市規模】									
大都市	56	25.0	39.3	26.8	5.4	1.8	-	-	1.8
中都市	124	31.5	40.3	18.5	5.6	2.4	-	1.6	-
小都市	86	39.5	18.6	26.7	4.7	3.5	1.2	3.5	2.3
町村	132	40.9	15.2	33.3	3.0	1.5	-	2.3	3.8
【性別】									
男性	214	33.2	27.1	27.1	5.1	2.3	0.5	1.9	2.8
女性	184	38.0	27.2	25.5	3.8	2.2	-	2.2	1.1
【年齢】									
60～64歳	181	41.4	27.6	19.9	4.4	2.2	0.6	2.2	1.7
65～69歳	128	35.9	27.3	26.6	3.9	2.3	-	1.6	2.3
70～74歳	58	25.9	27.6	37.9	-	3.4	-	1.7	3.4
75～79歳	22	13.6	22.7	40.9	18.2	-	-	4.5	-
80歳以上	9	22.2	22.2	44.4	11.1	-	-	-	-
【最長職タイプ】									
農業タイプ	78	26.9	16.7	44.9	1.3	5.1	-	3.8	1.3
自営業タイプ	123	30.1	33.3	22.0	8.9	3.3	-	1.6	0.8
雇用者タイプ	190	42.1	27.9	21.6	3.2	0.5	0.5	1.6	2.6
その他	7	42.9	14.3	28.6	-	-	-	-	14.3